

学校教育目標

自ら課題に立ち向かい、学び合う児童の育成

～ 気づき、考え、主体的に行動する人づくり ～

「おひさま」の皆さんとのお話を 通じて、平和の尊さを感じました。

万江小は月に1回、山江村の読み聞かせサークル「おひさま」の皆さんに児童への読み聞かせをしていただいています。夏休みも近づいた7月は、今年が戦後80年の節目の年ということもあり、平和を考える内容の構成詩「この子たちの夏～1945ヒロシマ・ナガサキ～」と詩「叫び声～長崎のキノコ雲を見た私の生涯の記憶のために～」を題材に職員も参加して読み聞かせを行いました。長い年月が経ち、実際に戦争を体験した世代の方々が少なくなっている中、記憶を風化させないためにも子どもたちに平和を考えさせることはとても意味のあることだと思います。子どもたちも、戦争がいかに悲惨なものであり、平和が大切であるか、子どもたちなりに感じとったことを発表していました。

友だちを大切にしよう ～人権集会～



6月は人権月間として、各学級でお互いの人権を確かめあい、大切にする態度を育成する取組をすすめました。人権を考える授業の実施と共に、人権集会を開きました。友だちのよいところを葉っぱに書き出し、「人権栗の木」に貼り出し、発表しました。そして、みんなとふれ合いながら楽しめるゲームなどを行いました。これからもみんなが大切にされる学校づくりを進めていきます。



全校での水泳学習。全校で楽しみながら取り組みました。泳力もあがっています。



人吉球磨を舞台とした映画「囁きの河」に 4年生木口耀さんが出演しています。

令和2年に人吉球磨地方を襲った豪雨災害から、それぞれの人たちが立ち上がっていかうとする姿を描いた映画「囁きの河」。静かな中にも、心に沁み、余韻の残る映画でした。この映画には本校の木口耀さんが、「川ん太郎」役として出演しています。先日行われた先行上映会の舞台あいさつにも立ち、立派にインタビューに答えていました。万江っ子の活躍を誇らしく思えました。



夏休みにはいります。命と健康を大切に
思い出にのこる夏休みにしたいですね。